

株式会社 C & G システムズ

若い力で次世代のモノづくりに挑戦

——技術革新と人材育成を両輪に業界トップをひた走る

記者の目



- ▶ インターンシップ型アルバイト採用で入社後即戦力
- ▶ 成長には既存の枠にとらわれない新戦力を積極投入

「生産性の限界に挑戦する」を社是に掲げる金型向け国産 CAD/CAM（コンピューター利用設計/製造）システム大手の C&G システムズは、若手技術者の採用を積極的に進めている。北九州（北九州市八幡西区）と東京（東京都品川区）の 2 本社制の強みを生かし、首都圏と西日本双方の優秀な技術者を通年で採用している。2019 年秋からは九州工業大学が始めたインターンシップ（就業体験）型アルバイトの受け入れ企業として同大学生を採用するなど、優秀な学生の囲い込みにも余念がない。

モノづくりの衰退に危機感

九州工業大の学生を 19 年に 6 人採用した小島利幸取締役管理統括部長は「これまでの一般的なインターンシップ事業と違って、インターンシップ型アルバイトは学生と長期のお付き合いが可能にな

る。卒業後に採用できれば入社後教育が短縮でき、即戦力になるというメリットもある」と期待する。新卒採用だけでなく、中途やアルバイトからの採用などあらゆる方法を駆使して即戦力技術者を育てる同社の人材雇用・育成システムは、非常に効果的と言える。

そんな同社は今、強い危機意識を抱いている。金型用 CAD/CAM システム大手とはいえ、電機や半導体などかつて栄華を誇った日本のモノづくり産業の多くが衰退し、製造拠点も海外移転が進む。一方で IoT（モノのインターネット）の進化は進み、世界の製造技術は大きな変革期を迎えている。こうした中で小島取締役は「今の製品が 10 年後、20 年後もリーディングであり続けるかどうかは分からない。そのためにも新しい製品や技術を若い人たちが生み出していかなければならない」と考えている。

進むフレッシュな人材登用

同社が金型に次ぐ柱に期待しているのが部品加工市場だ。19 年に機械部品加工に利用する 2 次元・3 次元融合 CAM システム「PartsCAM（パーツキャム）」を開発、同市場に本格参入した。金型に近い、量産加工分野にも自社ソフトウェアが活用できると判断して参入を決めた。工作機械を利用した加工ソフトはいまだ海外製が多く、中小企業にとって決して

使い勝手が良くないことも参入を後押しした。

塩田聖一社長は「業容拡大に向けてすでに複数のプロジェクトを立ち上げている。金型に隣接する市場には量産に関わる多くの分野がある」と期待する。ここで塩田社長が指す複数プロジェクトこそが、成長の鍵となる。そこには既存の枠にとらわれない新しい血が必要で、若い人材の登用が進められている。

期待の新星が開発本部研究開発部の田中耕太さんだ。田中さんは九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻修了後に一度は中部地区の会社に入社した。8 年間システムエンジニアとして活躍したが、生まれ育った九州の地で得意の数学を生かしたいとの思いから、19 年に C & G システムズに転職した。

入社後は即戦力として CAD ソフトの機能改善業務などに携わる。田中さんは自社について「社員一人ひとりの考えを尊重してくれる。チームもお互いを尊敬し、役割分担も明確化しており働きがいを感じている」と満足している。小島取締役は会社説明会で集まった入社希望者を前に「モノづくり企業は数多くあるが、オリジナルのブランドや製品を持っている企業は 10% に過ぎない。ここに該当する当社は自由な発想で開発を任せている」と説いている。モノづくりが好きで、新しいことに挑



代表取締役社長
塩田 聖一さん



令和も業界のリーディングカンパニーであり続ける（北九州本社）



開発教育センターが入居する北九州学術研究都市の技術開発交流センター



社内の人間関係は良好で、考えを尊重してくれる。「働きがいを感じている」と田中さん（中央）は話してくれた

戦する心を持った人にはぜひ扉をたたいてほしいと望んでいる。

同社は 19 年、北九州学術研究都市に「開発教育センター」を開設、プログラム開発者の育成を始

めた。教育担当技術者 2 人を配置し、1～2 年かけてじっくりとプロフェッショナルを育てる計画だ。現在 2 人を教育中で、21 年春にもう 1 人を追加する。

技術革新と人材育成を両輪として、令和の時代も業界のリーディングカンパニーを維持していく覚悟だ。

理系出身の若手社員に聞く

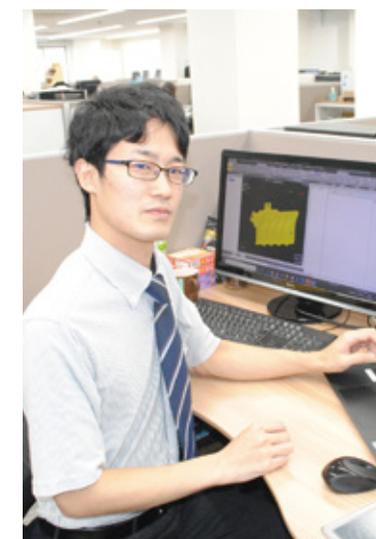
活気ある職場で、若手にも働きがいの仕事任せられる

開発本部 研究開発部 田中 耕太さん（2019 年入社）

C&G システムズは国産金型 CAD/CAM システム大手です。これまで国内 6000 事業所、海外 1000 事業所に同システムを導入しています。現在は STL（曲面を三角形の集まりで近似したもの）を BREP（滑らかな曲面）とする研究開発に携わっています。

CAD はあらゆる製品のベースですがどうやって作られているのか以前から興味を持っていました。地元の北九州に国内大手企業があることを知り、得意の数学を仕事に生かすことができることも入社決め手となりました。

当社は若い社員が多く、活気もあります。転職してすぐの自分に責任ある業務を任せてくれてやりがいも感じています。



会社 DATA

本社所在地：福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15 / 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F
 設立：2007年7月2日（前身の旧コンピュータエンジニアリングは1978年11月）
 代表者：代表取締役社長 塩田 聖一
 資本金：5億円
 従業員数：251名（連結）
 事業内容：金型用CAD/CAMシステム、生産管理システムなどの開発・販売・サポート
 URL：https://www.cgsys.co.jp

